

**安全安心な
まちづくり**
政和会 佐藤 英雄

〔質問〕各自治会で防災懇話会が開催され、防災意識が浸透していると思うが、自治会には各種団体があり、防災となれば本部との緊急な連絡が必要となるが、どんな組織を支援するのか。また幼児、児童に対する犯罪が多くなっている。地域における防犯活動において、防犯パトロール車の導入や、地区防犯協会の自主的なパトロール車の導入に對しての支援は出来るのか伺いたい。

〔答弁〕自主防災組織は、現在、5自治会で組織されていると聞いており、年度内に数地区の設立も予定されているように、それらの組織は、いずれも地域内の各団体の方々も一緒にあって緊密な連携のもとに有事の際の対応をすべく組織されていると認識しており、望ましい姿と考えている。

防犯モデル地区の指定は、基本的に賛成である。どのような形がよいのか検討もしたい。しかし、市はあくまでも主体的な地域活動を支援するという立場であることを理解してほしい。防犯パトロール中ステッカーが掲示されている。そのような取り組みであれば検討していきたいと考えている。

〔その他の質問〕

① 少子化、子育て支援について

② 市民バス事業について

**やる気のある市民だけが
だいせつ**
白政会 吉田 貞子

〔質問〕国は、一番住民生活に密着した業務を行っている地方自治体に、ナショナルミニマム（国民が健康で文化的な最低限の生活ができるような必要な行政サービスを提供する義務）の観点の配分になっていないのでは？財源を削っておきながら、自己責任だ

と自治体行財政をスリム化させようと国はしており、営利追求の対象に公共サービスをもってこようとしている。基礎的自治体としての市の役割、公共サービスのあり方について見解を求めます。

〔答弁〕行政の役割も、今までの行政依存から脱却し、住民がみずからの責任で何ができ、何が不足するのかを考え、その足らないところを行政がどのように支えていくかを考え、進めていかなければならないものと考えている。

市では市民の皆様に基づきと意識の改革を促すため、人の力を生かす、地域の力を生かすコミュニケーション育成事業など、みずからが行動を起こす事業等には積極的支援を行い、市民主導の自立した「こころ豊かなしろいし」の構築を図っていききたい。また、行政サービスについても、限られた財源で効果的なサービスを確保していくため、第3次行政改革の推進を図り、効率的で効果的な行政運営にさらに努めていきたい。

〔その他の質問〕

① 市民に対する説明責任について

② 白石市の情勢について

③ 「こころ豊かなふるさと白石」実現のためのキーポイントについて

④ 教育について

**「過疎は怖くない。
恐ろしいのは心の
過疎である。」**
無二の会 大庭 康一

〔質問〕心豊かなふるさとづくりというが、心豊かな市長が提唱するからこそ市民に説得力をもつというものである。現住する市民のふるさととはなにか。3年前の議会における当時の市長は「人口の減少や高齢化が進んでいると、白石だけをあげつらうの間違

いである。人口の増加だけが白石の発展につながる考え方は時代おくれである。」と述べた。白石の人口減は少子高齢化だけがその要因なのか。大河原町、柴田町は人口増、市長の所見を承りたい。

〔答弁〕市民一人一人が自分

の住むまちに誇りを持つことは極めて大切なことである。私自身もこの白石をふるさとだと誇りと自身を持つている。人口減、少子化の見解であるが、これは、長い間に熟成されてきた社会全体の風潮、またライフスタイル、環境など、その他のさまざまな要因がもたらした今結果ではないかと思っている。ただ、人口減というのは、市にとっても施策にとっても、とても影響するものだと認識している。

〔その他の質問〕

① 市政の柱とする「賑わいと活力のあるまち」「人にやさしいまち」とは、

② 施政方針とは、実現可能な施策や努力目標などを羅列するだけでなく、行政の抱える課題、難題についてその現状と対策を積極的に市民にすべきではないか。